

経済学/駒井重格(講義) ; 山口正毅(編輯)
(英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級))

このPDF ファイルは、英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級)(原装本デジタル・データ)から、経済学の部分を抽出して編集したものである。

26 ページの次が 19 ページから始まるが、これは本来 27 ページからとすべきミスである。

2015 年 7 月 中央大学大学史資料課

經濟學

米國文學士 駒井 重格 講義

校友 山口 正毅 編輯

總論

經濟ノ釋

義

いEconomy.
るGoods.
はWants.

經濟エコノミトハ産業ヲ治ムルノ義ニシテ人間カ外部ノ貨物グーズノ需用ウオンツヲ満足セ
ン爲メ規則立テ正路ニ據リ職業ヲ營ムヲ謂フ

凡ソ人間ニハ有形ト無形トヲ問ハス必ス需用ト云フモノアリ其需
用タルヤ人民進歩ノ度ニ由リ其種類ト量トニ異同アリ人民ノ進ム
ニ從ヒテ其種類ヲ増加スルハ勿論其量ニ於テモ増加スヘシ何トナ
レハ需用即チ語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ人ノ欲望ハ知ラサルモノニ起
ラサルカ故之ヲ知ルニ從ヒテ増加スルハ當理ナレハナリ左レハ無
智嚙昧ノ民ニアリテハ需用ノ種類量ト共ニ甚タ僅少ナルヘキモ如

何ナル人間ニテモ今日生存セネハナラヌト云フコトアルカユヘニ
極メテ簡單ナル生活ニシテ食ハ腹ヲ満スニ足り衣ハ躰ヲ覆フニ足
リ家ハ雨露ヲ防クニ足レハ他ニ求ムル所ナキ人ニテモ衣食住ノ需
用ヲ欠ク能ハス此簡單ナル需用ヲ満足スルニモ産ヲ治メ家ヲ立ツ
ルニアラサレハ徒手ヲ仰ヒテ待ツトモ牡丹餅ハ棚ヨリ落チテ口
ニ入ラス衣帶自ラ來リテ身ヲ覆ハス左スレハ人々經濟ヲ行フニア
ラサレハ此等ノ簡單ナル需用ニテモ満足スルコトハ出來サルナリ
コレ人間アレハ必ス經濟ノ存セサルヘカヲサル所以ナリ
而シテ貨物トハ直接ニ間接ニ人間ノ需用ニ供スル百般ノ物ニシテ
衆人ノ認メテ有用ト考フ所ノモノヲ云フヲ以テ有形物アリ無形物
アリ其含蓄スル所甚タ廣シト雖經濟的ノ貨物ハ經濟ニ依リテ需用
ヲ満足スルヲ得ヘキ外部ノ貨物ニ在リ左レハ外部ノ貨物トハ自身

外ノ物ニシテ重ニ有形的ノ貨物ヲ指スモノト知ルヘシ假令其物タル無形的ナルモ有形物ト均シク計算スルヲ得ヘキ所ノモノナリ今爰ニ余輩カ外部内部ト稱スルハ自身ノ内外ヲ云フモノナルカ故ニ關係ヨリ定マルモノトス夫ノ道德智識材能健康等ノ如キハ之ヲ有スル人ニ在リテハ内部ノ貨物タリ故ニ之ヲ得ント欲スルトモ經濟ニ依リテ得ヘキモノニアラス然ルニ他人ノ智識材能等ヲ使用セントスル場合ニハ是等ノ無形物ト雖尙ホ衣服飲食等ノ如ク經濟ニ依リテ我用ニ供スルコトヲ得ヘシ故ニ此場合ニ於テハ外部ノ貨物ト云フヘキナリ

然ルニ此貨物ノ需用ヲ満足スルコトサヘ出來ルナラハ其所業ノ如何ヲ問ハス經濟ト云フヘキカト問フニ決シテ否ラサルナリ例ヘハ道ニ落チタル金錢ヲ拾フモ他人ノ所有物ヲ盜ムモ貨物ノ需用ヲ滿

經濟學ノ
釋義

12 Economy

足スル結果ハ同シカルヘシト雖產業ヲ治ムル者トハ云フヘカラス
 子房未虎嘯破產不爲家ト云フモ亦經濟ヲ爲サ、リシヲ云フモノナ
 リ何故ニ盜賊ヤ食客ヲ爲シテ生活スルコトハ均シク需用ヲ満足ス
 ルモ經濟ヲ爲ス部内ニ入ル能ハサルハ多言ヲ待タサルヘシ試ミニ
 思ヘ世人カ皆蜂須賀小六ヤ張子房ノ如キコトヲ爲シテ世ヲ涉ラハ
 誰モ米穀ヲ作り衣服ヲ織ルモノ無カルヘシ去レハ何處ニ需用物ヲ
 満足スルヲ得ヘキカ世ノ中ニハ食物モ無ク衣物モ無カルヘシ故ニ
 正當ノ方法ニ依リ規則立テ間斷ナク經營スル所業ニアラサレハ假
 令貨物ノ需用ヲ満足スルモ經濟ヲ行フモノト云フヘカラス

ニボリチカルエゴノミ
 經濟學トハ國家經濟ノ運動ノ法則ヲ研究スル學問ニシテ其論スル所
 ハ國民有形上ノ利益ヲ圖ルニ在リテ一國人民衣食住ノ需用ヲ始メ百
 般ノ需用ヲ満足スルニ最小ノ勞費ヲ以テ最大ノ利益ヲ得ル方法如何

又其需用ノ満足ト國勢トハ如何ナル關係ヲ有スルヤ等ヲ説クモノト
ス

人間ハ各自前ニ述フル所ノ經濟ヲ行ヒ而シテ是等ノ人類相集リテ
一社會一國ヲ爲シテ國家ノ經濟ヲ組成ス故ニ國家ノ經濟ハ一ノ組
織体ニシテ其分子タルモノハ各個人ナリ各個人ハ自由ノ思想ヲ以
テ各自ノ經濟ヲ行ヒ成ルヘク割合ニ少ナキ骨折ヲ以テ成ル可ク大
ナル利益ヲ得ルゴトニ汲々タルニ過キサレトモ其全體ノ運動スル
ニ至リテハ自ラ法則アリテ常ニ此法則ニ支配セラル、モノトス例
ヘハ土地耕殖ノ發達スル又其收穫ノ分配サラル、皆各其法則アリ
テ之ニ從フモノナリ故ニ國民ヲシテ經濟的ノ貨物ノ需用ヲ満足セ
シメ有形上ノ利益ヲ進メント欲セハ國家經濟ノ依テ以テ運動スル
法則ヲ明カニセサル可カラズ之ヲ研窮スルノ學問ヲ稱シテ余輩ハ

經濟學トハ云フナリ然ルニ國民ヲシテ經濟的貨物ノ需用ヲ満足セシムルニハ費ス所小ニシテ得ル所大ナレハ大ナル割合ニ満足ノ度ヲ大ニスルヲ得ヘシ試ニ一個人ヲ以テ之ヲ見レハ一日勞働シテ一週間ノ衣食ヲ得ルト二日勞働シテ同一ノ需用ヲ得ルトヲ比セハ一日ニシテ得ルノ利大キニ如カサルヘシ如何トナレハ他ノ一日ハ別ニ之ヲ利用スルヲ得可ケレハナリ一個人ニシテ利アレハ之ヲ十數人ニスルモ延テ一社會ニ及ホスモ其利ハ敢テ異ナルコトナカル可シ是故ニ經濟學ヲ論スルニ當リテハ之レカ方法ヲ攻究スルコト頗ル緊要ナリトス而シテ又其需用ヲ満足スル大小ハ國家ノ盛衰ト如何ナル關係ヲ有スルヤ等ヲモ講究セント欲スルナリ

左レハ經濟學ハ有形上ニ於ケル經濟國民ノ學問ト云フ可ク人民カ各自ニ私ノ經濟ヲ行フニモ政府カ公ノ經濟ヲ處理スルニモ財政ヲ

義生産ノ釋 (w) Production

治ムルニモ皆經濟學ヲ以テ基礎トナシ又政治ニ法律ニ其關係ハ甚
 々親密ナリ左レハ經濟學ノ要用ナルコトハ辯ヲ待タスシテ明カナラン
 (i) プロダクシヨン
 生産

余輩ハ此經濟學ヲ講スルニ生産、分配、消費ノ三大區別ヲ爲シテ之ヲ論
 セントス依テ今回ハ先ツ生産ヨリ始メン
 諸君モ知ラル、如ク凡ソ天下ノ物質ハ六十四元素ヨリ成立ツモノニ
 シテ其元素タルヤ敢テ吾人ノ力ヲ以テ造出スコトヲ得スシテ天然ニ
 存在スルモノナリ生産トハ持出スト云フ意味ニシテ敢テ世ノ中ニ無
 キモノヲ生出スニアラス只已ニ世ニ存在スル物ニ變化ヲ加ヘ無用ノ
 物ヲ有用トシ若クハ形ヲ變スルカ或ハ其位地ヲ變ヘ其貨物ノ用ヲ大
 ニスルヲ生産ト云フナリ例ヘハ石炭ハ數千百年來已ニ世ニ存在スル
 モノニシテ敢テ今日人間ノ造クルニアラス今之ヲ性ノ儘地中ニ棄置

カハ何ノ用ヲモ爲サ、レトモ人力ヲ加ヘテ採掘スレハ以テ燃燒ノ用ニ供スルヲ得ヘク此採掘シタル石炭ヲ坑中ニテ燃燒スレハ其用甚タ少ナケレトモ之ヲ需用ノ在ル場所ニ運搬スレハ適宜ニ器械ヲ動スノ用ニ供スヘク汽車汽船ヲモ運轉スルヲ得ヘク以テ割烹ノ用ニ供スヘク以テ暖ヲ取ルヘク以テ瓦斯ヲ製スヘク其用甚タ大ナリ又米麥ノ如キモ原ト地中ニ米麥ヲ成立セシムル元素アリト雖其物質タルヤ米種ヲ播カサレハ集合スルヲ得ヘカラス故ニ米種ヲ播キ耕耘培養スレハ以テ花ヲ開キ實ヲ結ヒ以テ穀物ヲ得ヘキナリ見ヨ此物質ハ地中ニ在ル間ハ無用ノ物タリト雖人力ヲ以テ種ヲ播キ稻ヲ媒介トシテ有用ナル米麥ト爲シ以テ其用ヲ大ニスルモノナリ以上説ク所ノ事ヲ稱シテ通例生産ト云フ然ルニ經濟上ニテ所謂生産ハ尙ホ是レ而已ニテハ充分ナラス尙ホ爰ニ第二ノ意義アリ則チ經濟上ノ生産トハ其無用ヲ變

生産要物
天然物

シテ有用ニシタルニセヨ形ヲ變シタルニセヨ位地ヲ變エタルニセヨ
生産セラレタル貨物ハ其生産ニ使用シタル貨物ヨリ需用ヲ大ニセサ
ルヘカラス例ヘハ米麥ナレハ初メ播キタル種ノ量ヨリ其收穫ノ大ナ
ルヘキハ勿論都テ肥料農具勞力等使用シタル丈ノ物ヨリ大ナラサル
ヘカラス即チ一圓ノ貨物ヲ費シテ五拾錢ノ貨物ヲ造リ得タルトテ生
産トハ云フヲ得サルカ如シ斯クノ如ク經濟上ノ生産ハ人間ノ需用ノ
満足ヲ大ニスルコトユヘ費シタル物ヨリ得タル結果大ナルヲ要スル
モノニシテ此生産ヲ爲スニハ天然物勞力資本ノ三者カ必要欠クヘカ
ラサルモノナリ故ニ先ツ此三要物ハ如何ナルモノナルヤヲ論究セン
トス

天然物ニハ交換價格ヲ有シ得ヘカラサルモノアリ交換價格ヲ有シ得
ヘキモノアリ交換價格トハ其物ヲ以テ他物ト交換スルヲ得ルノ價值

交換價格
ヲ有シ得
ヘカヲサ
ル物

アルモノヲ云フ例ハ此卓上ナル「ランプ」ヲ得ント欲セハ惠與セラレ
、外他物ヲ與ヘサレハ我有トナスコトヲ得サルヘシ左レハトテ途中
ノ石塊ヲ持チ行キ「ランプ」ト交易セント申出ツルモ誰モ承諾スルモノ
ナカルヘシ其代トシテ與フル物モ亦他人カ所有シテ満足スル所ノモ
ノタラサルヘカラス斯クノ如ク相互ニ交換シテ相互ニ満足スルコト
ヲ得ヘキ性質ヲ稱シテ交換價格トハ云フナリ
交換價格ヲ有シ得可ラサル物トハ眞ニ天與ノ物ニシテ各人自由ニ使
用スルヲ得ルモノナリ又ハ自由ニ使用スルヲ得サルモ國土ト特種ノ
關係ヲ有スルカ爲メ緊要ナル財源ト爲ルモノヲ云フ例エハ日光空氣
河海氣候ノ如キモノトス今試ミニ是等ノ物カ何故ニ經濟上ニ要用ナ
ルヤヲ辯明セン
日光空氣ノ如キハ各人自由ニ使用スルヲ得ルモノニシテ無盡藏ト云

フヘキモノナレトモ人間ヲ始メ諸他ノ動物及植物ノ生存ニ必要ナル
モノニシテ若シ一時一分ニテモ是レ無キトキハ其生ヲ保ツコト能ハ
サルヘシ此一事ヲ以テ生産上必要ナルコト多言ヲ待タス
又河海ノ如キハ土地ノ氣候ニ關係シ温度乾濕ニ影響スルコト少カラ
ス則チ近傍ノ水ノ多少及其温度ノ高低ニ依リ通例其土地ノ寒温乾濕
ヲ異ニスヘク河海ニハ鹽魚類海藻等ノ水産物アリ魚類ノ如キ若シ河
海ナケレハ吾人ハ食ニ魚ナキノ嘆ヲ生スヘシ又河海ハ運輸ノ大通路
ニシテ貿易上樞要ノ一機關タリ氣候ハ又生産物ノ種類ニ大關係ヲ有
スルヲ以テ一層精密ニ論究スヘキノ要用ヲ覺ユルナリ
概シテ之ヲ云フトキハ氣候ノ温暖ナルニ從ヒテ自然ノ生産力ニ富ミ
同種ノ植物ニテモ暖國ニテハ其成熟割合ニ速カナルヲ以テ一ヶ年同
地ヲ數回耕作シ又ハ同一ノ種ヨリ一年ニ數回收穫ヲ得ヘシ然ルトキ

ハ一町ノ田地モ殆ント數町ノ益用ヲ爲スヘシ我邦ニテモ南部ノ諸縣
 ニテハ二度作ト稱シテ一年中ニ同地ヲ二回使用スルハ常ナリ又米ヲ
 刈リタル後殘莖ヨリ再ヒ芽ヲ生シ穗ヲ出スコトアルハ府下ニテモ吾
 人ノ往々目撃スル所ナリ亞刺比亞ニテハ收穫ノ際散亂シタル穀物ノ
 種ヨリ芽ヲ生シ一ケ年間ニハ三回收穫ヲ爲スト云ヘリ毎回ノ收穫高
 ニ至リテハ土地ノ肥瘠ニ關スルコトモ亦大ナルヘシト雖氣候ニ由リ
 テ多少ヲ異ニスルモノナリ余輩ノ聽ク所ニ依レハ我邦ニテモ北部ノ
 諸國ニテハ晚稻ノ如キハ充分ノ成熟ヲ待ツ能ハスシテ早ク刈入レサ
 ルヘカラス從テ其品質モ美ナラス收穫高モ充分ナラス故ニ寒氣ノ早
 ク來ル年ト晚キ年トニ由リ晚稻ノ收穫ニハ大差アリト云ヘリ合衆國
 ノ北部諸州ニテハ麥ノ收穫高ハ其播キ付ケ高ノ四五倍ニ過キサレト
 モ墨其斯哥ノ南部ニ至レハ麥種播キ付ケ高ノ二十五倍多キハ三十五

倍ノ收穫ヲ得ヘシ蜀麥ハ日耳曼ニテハ其播キ付ケ高ノ百倍ヲ得ルヲ以テ最良トスレトモ熱帶ノ諸國ニ至レハ三百倍乃至四百倍ヲ得ルハ通例ナリト云フ又其品質モ寒地ト暖地ト差異アルモノニシテ暖地ノ產物ハ質美ニシテ其味濃厚ナルヲ常トス故ニ菓物ノ如キハ糖分多ク油トノ植物ハ油氣多シ我邦モ良米ヲ産スルハ多ク南方ニ在リテ未タ山陰北陸道等ニ良米ヲ出スヲ聞カサルナリ歐州ニテモ西班牙希臘ノ如キ南部ノ諸國ニテ生産スル葡萄酒ハ濃厚ニ過クルヲ以テ其味佛國產ノ淡美ナルニ若カスト云ヘリ斯ノ如ク温度ノ差異ハ生産物ニ影響スルモノナレトモ只全年ノ平均温度ニ於テ經濟上ニ關スルノミナラス日夜温度ノ變更四季温度ノ高低夏時ノ最高温度冬季ノ最低温度如何モ亦生産物ニ關係スルコト大ナリトスシベリヤ地方ハ一周年度ノ平均温度ハ零以下七度半ノ場所ニテモ夏時ノ最高温度十六度冬季ノ

最低温度零以下ノ三十九度ナルカ故ニ尙ホ裸麥小麥ヲ産スレトモア
 イスラントハ平均四度ニシテ前者ヨリハ温度高シト雖最高温度十二
 度最低一度六分ニシテ熱度十分ナラサルカ爲メ毫モ穀物ヲ産スルヲ
 得ス其他大寒ニ堪ユルモ高度ノ暑熱ヲ要スル植物アリ高度ノ暑熱ヲ
 要セサルモ大寒ニ堪ヘサルモノアリ通例海岸地方ハ暑氣モ酷熱ナラ
 ス寒氣モ温和ニシテ大陸内部ノ寒熱共ニ酷烈ナルノ比ニアラス故ニ那
 威ノ如キハ沿海地方ニテハ牧畜漁獵ニ利アルモ穀類ヲ産スルヲ得ス
 内地ニ至リテハ却テ穀ヲ産スヘシ然レハ則チ斯ノ如キ地方ニ於ケル
 温度ノ差異ハ一利一害ニシテ未タ必シモ何レヲ以テ得トシ何レヲ失
 トスルヲ得サルモノナリ
 以上論シタルハ交換價格ヲ有シ得ヘカラサルモノ、大畧ニシテ敢テ
 枚舉シ盡シタルニアラスト雖其性質ヲ推シテ考ヘナハ明ラカトラン

交換價格
ヲ有シ得
ヘキ物

次テ交換價格ヲ有シ得ヘキモノヲ述ヘン
交換價格ヲ有シ得ヘキ天然物ハ人間ノ私有シ得ヘク人間ノ需用ニ對
シ供給ニ限アル物ニシテ動カシ得ヘキ物ト動カシ得ヘカラサル物ト
アリ動カシ得ヘキ物トハ野生ノ動植物及鑛物石炭ノ如キヲ云ヒ動カ
シ得ヘカラサル物トハ土地等ヲ云フ實ハ土地ト云フヨリ土地ニ密晝
シテ其一部分タルモノナレトモ此天然物ハ土地ヲ使用スルニアラサ
レハ人間ノ需用ニ供スル能ハサルモノナレハ余輩ハ舉ケテ土地ト稱
スルナリ是等ノ如キモノハ人間ノ需用ヲ満足スルコトヲ得ル場合ニ
於テハ交換價格ヲ有スルコトヲ得ルモノトス例エハ空飛フ雁ヤ山ヲ
販ル鹿ニ向ツテ金銀ヲ拂フモノ無ケレトモ之ヲ捕フルトキハ交換價
格ヲ生スルヲ以テ金銀ヲ出シテ購フモノヲ生スルナリ石炭山ノ如キ
ハ其含有スル石炭ヲ採掘スル目的アレハコソ交換價格ヲ有スルナリ

若シ石炭ニシテ富士山ノ頂上ニアラハ如何ナル良質ノ石炭山ニテモ
 之ヲ採掘スル能ハサルヲ以テ交換價格ヲ生セサルヘシ土地ノ如キハ
 農業ヲ爲スカ家屋ヲ建築スル等使用ノ目的アルカ爲メニ交換價格ヲ
 有スルナリ若シ之ヲ使用スル能ハサレハ如何ナル膏腴ノ土地ト雖決
 シテ交換價格ヲ有スル能ハサルヘシ何トナレハ人間ノ需用ヲ満足ス
 ルコトヲ得サレハナリ人間ノ需用ヲ満足スルヲ以テ交換價格ヲ有ス
 ルモノナルカユヘニ他ノ事カ同シケレハ人間ノ需用ヲ満足セシムル
 コト大ナレハ價格モ大ナルヘシ此ニ他ノ事カ同シケレハト云フコト
 ハ肝要ナリ例エハ理學上ニテ水ハ平面ヲ保ツト云ヘトモ若シ風アレ
 ハ波濤ヲ生シテ常ニ動搖シ平面ノ何タルヲ見ル能ハス是レ風ト云フ
 他ノ事情アルカ爲メナリ經濟上ニテモ是ト同シク需用ヲ満足セシム
 ルコト大ナレハ價格モ同シク大ナリト云フハ他ノ事ニ異同ナキ場合

ニ於テ然ルヲ云フナリ試ニ木綿ヲ製造スルニ是レマテ手織ニセリ然ルニ新ニ器械ヲ以テ之ヲ製造スルコト、ナレリト見ヨ木綿カ人間ノ需用ヲ満足スル度ハ同一ナレハ交換價格モ同一ナルヘキ筈ナルニ交換價格ニ差異ヲ生スヘシ是レ生産ノ方法ニ異動ヲ生セシユヘニ交換價格ニ差異ヲ生シタルモノニシテ即チ他ノ事カ同シカラサルナリ左レハ今後モ屢々他ノ事カ同シケレハトカ又ハ他ニ異動ナケレハトカ云フ語ヲ用フルトキハ右ノ意ヲ表スルモノト知ルヘシ試ミニ石炭ヲ其坑中ニ於テ燃燒スルト之ヲ採掘シテ適宜ノ場所ニ運送シテ使用スルトヲ比セハ需用ヲ満足スルコトノ大小大ニ相異ナルヘシ若シ坑中ニテ燃燒セハ其利ヲ蒙ムルハ只近傍ニ止リ段々下層ニ燃入ルニ從ヒテ其用ヲ減スヘク其利甚タ小ナリ之ニ反シテ採掘シタル石炭ナレハ適宜ノ量ヲ適宜ノ場所ニテ使用スルヲ得ル故ニ需用ヲ満足スルコト

遙ニ大ナルヘシ是故ニ其交換價格モ亦大ナリ
動カシ得ヘカヲサルモノ即チ土地ニハ山川アリ池沼アリ耕地アリ牧
地アリ其種類枚擧ニ遑アラスト雖モ經濟ノ用ニ供シテハ際限アルモ
ノナリ例エハ川ノ如キハ水車ヲ掛ケテ之ヲ使用スルニ其水勢ニ相當
ノ水車ヨリ大ナルモノヲ掛ケントスレハ水力足ラサルヲ以テ其川ハ
用ヲ爲サハルヘシ又池水ヲ田地ニ引用スルニ其池中ノ水ヨリ多クノ
水量ヲ引用セントスルモ田地ヲ灌漑スル能ハサル如ク其用ニ定限ア
ルモノナリ假令斯クノ如キ一定ノ際限ナキモ其使用ヲ増スニ從ヒテ
困難ヲ増シ遂ニ其際限ニ達スヘキモノアリ土地ヲ耕殖スル如キ之レ
ナリ土地ヲ耕殖スルニハ若干町卜定リタル區域内ニ於テハ資本勞力
ヲ増加スレハトテ其増加シタル割合ニ生産ヲ増スコトヲ得ルモノニ
アラス勿論新地ヲ耕殖スル初メニハ資本勞力ヲ増加スルニ從ヒテ其

生産ヲ増加スルヲ得レトモ其増加ニ極點アリテ其點ニ達シタル後ハ
幾何ノ資本勞力ヲ増スモ其割合ニ生産ヲ増加セサルナリ例ヘハ新地
ヲ開キ米麥ヲ播殖スルニ其初メハ肥料ヲ加ヘ耕耘ヲ密ニスル等資本
ヲ加ヘ勞力ヲ増スニ從ヒテ收穫高ヲ増スニハ相違ナキモ或ル極點ニ
達スレハ其以後ハ如何ニ肥料ヲ多ク施スモ如何ニ深ク土地ヲ耕スモ
如何ニ綿密ニ雜草ヲ耘ルモ其割合ニ收穫ヲ増加スルヲ得ルモノニア
ラス資本勞力ヲ増加スル割合ニ却テ其收穫ヲ減少スヘキナリ之ヲ土
地ノ生産減少ノ法ト云フ尤モ其極點ハ農業法ノ改良ヲ以テ動カスヲ
得ヘキモノナリ然レトモ尙ホ其極點ハ何レニカ存在シテ消滅スルモ
ノニアラス故ニ如何程肥料ヲ施セハトテ僅カニ一町歩ノ田地ヲ以テ
日本全國三千七百万ノ人民ニ充分ノ食物ヲ與フルニ足ラサルヘシ嘗
テ「グワノー」ト稱スル白露ニ産スル鳥糞ヲ以テ肥料ノ効驗ヲ試験シタ

ルモノアリ其成績ニ由レハ地坪一「エクタール」三「グワノ」三「百」キログ
 ラム「ヲ」施シタルニ三ヶ年間ニ牧草ノ收穫二千四百六十九「キログラム」
 ナ増シタリ然ルニ其倍ノ肥料即チ六百「キログラム」ヲ用ヒタレトモ收
 穫ノ増加ハ僅ニ二千八百七十「キログラム」ナリシト云フ左レハ肥料ヲ
 増セハ其收穫ヲ増サ、ルニアラサレトモ肥料ヲ施ス割合ニ増加スル
 ナ得ス却テ肥料多キニ過クレハ植物ヲ枯死スルニ至ルコトアリ
 天然物ノ中土地ハ殆ント總テノ生産ニ要用ナルモノニシテ生産ノ爲
 メニ勞力資本ヲ加フル所ノ物質ハ間接直接ニ土地ヨリ生セサルモノ
 ハナシト云フヘシ假令野禽野獸ト雖モ其食物ヲ得ル所ハ土地ヨリス
 左レハ某經濟家ハ生産ノ要物ヲ以テ土地資本勞力ノ三者ニ歸セリ余
 輩ハ交換價格ヲ有シ難キ天然物ト之ヲ有シ得ヘキ天然物トニ類ヲ分
 テ其後者ヲ再分シテ動カシ得ヘキモノト動カシ得ヘカラサルモノト

ナシタルヲ以テ土地ノ意義ヲ狹小ニセリ然レトモ生産要物ノ一ナル
 天然物中其關係最モ廣ク最モ研窮ヲ要スルモノハ土地ニアリ是他ナ
 シ農業ニ至リテハ土地ニ依ラサレハ行フ能ハサルモノニシテ殆ント
 萬般ノ粗生品ハ皆土地ヨリ生スルヲ以テナリ是故ニ先ツ土地ノ生産
 力ニ關スル素質ヲ説カントス此素質ヲ分チテ三トス
 第一 耕殖ニ堪ユヘキ力
 第二 耕殖ニ適スル力
 第三 植物ヲ養成スヘキ力
 第一土地ノ耕殖ニ堪ユヘキ力トハ土地ノ廣狹深淺ヲ云フモノニシテ
 地味豊饒地質善良ナルモ境域狹少ニシテ彈丸黒子ノ地ナリセハ如何
 トモスル能ハス又境域ハ廣大ナルモ土地淺クシテ岩頭ニ數寸ノ土地
 アルニ過キサレハ生産ノ利ヲ爲スニ足ラス左レハ耕殖ニ堪ユヘキ力

ノ大小ハ生産ニ關スルコト大ナリ尤人口ノ増加スルトキハ砂原ヲ變シテ田畑トナスニ至ルアリ是レ砂原ハ耕殖ニ適當ナルカ故ニアラスト雖モ尙之ニ勞力資力ヲ加フレハ耕殖ニ堪ユルノ力アルヲ以テ止ヲ得サルニ至レハ之ヲ使用スルモノナリ

第二耕殖ニ適スルカトハ土地ノ表面形質ニシテ地形ノ險易及地質カ水氣ヲ含有スルカ或ハ地質ノ輕重卽チ地質輕ケレハ耕鋤スルニ易ク重ケレバ耕鋤スルニ困難ナルヘシ乾燥ノ遲速水氣熱氣又ハ瓦斯ヲ吸取スル等ノ力如何ヲ云フモノナルカ故ニ人力ヲ以テ容易ニ如何トモスルコト能ハサルモノナリ若シ地形險峻ナルカ水氣ノ保持不良ナルカ地質重ク耕鋤難キ等ノコトアレハ徒ニ勞力ヲ費ヤシ資本ヲ消スルニ過キスシテ其効驗ハ十分ナルヲ得ス決シテ耕殖ニ適シタルモノト云フヘカラス故ニ生産力ノ關スル所大ナリト云ヘシ

第三植物ハ空氣ヨリ一部分地中ヨリ一部分ノ食物ヲ吸收シテ生育ス
 ルモノニシテ地中ノ食物ヲ吸收スルニハ水及日光ノ力ニ依ル空氣水
 及ヒ日光ノ如キハ植物ノ生長ニ必要ナルモノナレトモ誰ニテモ自由
 ニ得ヘク且ツ無盡藏ニシテ植物ヲシテ此力ヲ借ラサシメント欲ス
 ルモ得ヘカラサルモノナリ故ニ土地ノ生産力ニハ關係セス然レトモ
 地中ノ食物ニ至リテハ早晚盡クルモノトス是故ニ同一ノ土地ニ毎年
 同一種類ノ植物ヲ殖ユルトキハ完良ノ結果ヲ得難シ是レ植物ニ依リ
 其吸收スル食物ヲ異ニスルカ故ニ同一ノ植物ヲ年々同地ニ殖ルトキ
 ハ常ニ同一ノ食物ヲ吸取シテ土地ノ養成力ヲ減スルニ由ル左レハニ
 ヤ農夫ハ毎年同一ノ植物ヲ同地ニ殖ヘス去年麥ヲ殖タル地ニハ今年
 豆ヲ殖ルトカ今年雜穀ヲ殖タル地ニハ來年野菜ヲ殖ルカ如キコトヲ
 行フナリ又土地廣濶ニシテ人々稀少ナレハ甲乙地隔年ニ耕殖スルコ

トアリ皆其植物ニ依リテ異ナルユヘ假令前年ニ異ナリタル植物ノ吸
收シタル間ニ肥料ヲ施シテ地中ノ食物ヲ保育シ土地ヲ枯死セシメサ
ルコトヲ謀ルモノナリ土地カ植物ヲ養成スル力ノ大小ハ收穫良否ノ
決スル所其生産ニ關スルコト大ナリト云フヘシ
天然物ノ種類ヲ説キ終リタルヲ以テ次ニ天惠ニ依リテ生産上ニ差異
アルヲ説カン
熱帶地方ハ生産ニハ非常ノ天惠ヲ有スルモノニシテ經濟ノ簡單ナル
コトハ驚クヘキモノアリ日本等ニテハ芭蕉菓ヲ結ハサルニアラサレ
トモ成熟セスシテ食用ニ供シ難シ熱帶諸國ニテハ盛ンニ産出シ居民
ノ食物トナル此芭蕉耕殖ハ實ニ容易ナルモノニシテ菓實ノ熟スルト
キ樹幹ヲ伐リ新芽ノ生スルトキ僅カニ側地ノ外面ヲ掘返シ置ク井ハ
花ヲ開キ實ヲ結フト云フ而シテ其收穫ノ量ヲ麥ニ比スレハ同一ノ面

積ニテ麥三十石ニ付芭蕉菓四千石ノ割合ニ當ル程ナリ左レハ麥ト芭蕉トハ同一ノ面積ニ耕殖シテ麥ハ一人ノ生ヲ養フニ過キサルモ芭蕉ハ二十五人ヲ養フニ足ルト云ヘリ加フルニ麥ハ之ヲ食スルニ至ルマテハ或ハ舂ツキ或ハ煮サルヘカラサルモ芭蕉ハ唯前ノ勞力ノミニテ生菓ヲ收メテ直ニ食スルヲ得ルモノナリ墨其斯哥ノ或地方ニテハ一日勞スレハ一週間一家族ヲ養フヲ得南洋州ノイースター島ニテハ一年間三日勞働セハ一年間一人ノ生ヲ養フヘシト云フ生計ノ容易ナルヲ推知スヘシ棗樹モ亦熱帶ノ天惠物ナリ此樹ハ一株ニテ五十斤乃至二百五十斤ノ實ヲ産シ二百年以上其生ヲ保チ「エーカ」ノ地アレハ二百本ヲ樹ユヘシ芭蕉ヨリハ少シク注意ヲ要スレトモ勞ハ甚タ少シ故ニ熱帶ノ人民ハ殆ント勞セスシテ口腹ノ欲ヲ満足スルニ足ルト云フヘシ然レトモ生産上ノ天惠ハ却テ人民ノ天惠トナラス其生活ノ易

キニ満足シテ懶惰ニ陥リ進取ノ氣力ナク開明ノ域ニ進ムコトヲ得ス
 人間ニシテ殆ト猿ニ異ナラス暖ナルカユヘニ衣ヲ服スルノ必要ナク
 居ハ雨露ヲ凌ケハ足り食物ハ果實ヲ以テ満足シ吾人カ今日牛肉ヲ啖
 テ味善キヲ稱スルカ如キ樂ミヲ知ラス實ニ憫ムヘキモノナリ寒地ニ
 至リテハ暖地ニ比スレハ天惠薄キヲ以テ生活ニハ甚タ困難ナリトス
 何トナレハ若シ始終勞働セサルトキハ忽チ糊口ニ窮スルヲ以テナリ故
 ニ寒地ハ生活ニ汲々タルヲ以テ開化ノ進ムハ必ス暖地ヨリスルヲ例
 トス則チ亞細亞ノ開化ハ印度ニ始リ歐洲ノ開化ハ埃及ニ起レリ然ル
 ニ暖地ノ開明ハ大ニ上進スルヲ得ス何トナレハ人民偷安ニシテ怠惰
 ニ流レ易キユヘナリ然ルニ寒地ノ開化ハ發達ニ遅ル、モ其一度發達
 スルヤ上進シテ底止スル所ヲ知ラサルカ如シ是レ寒地ハ天惠ニ富マ
 サルヲ以テ油斷ヲ爲ス能ハス少シニテモ偷安ノ念ヲ生シテ油斷セハ

衣食ヲ得ル能ハサルノ艱難ニ陷ルヲ以テ人民汲々努力倦マス積テ大成スルニ至ルモノナラン猶ホ牛ハ行步遅々タレトモ怠ラサルトキハ千里ノ程ヲ行クニ難カラサルカ如シ然レトモ天惠薄キノ極モ亦不可ナリ北極地方ノ如キ如何ニ人民ハ勞働スルモ人力ヲ以テ需用ヲ満足スルノ望ナク自暴自棄シテ却テ懶惰ニ陷リ開明ノ域ニ進歩スルヲ得ス由是觀之ハ吾人温帶ノ間ニアルモノハ却テ最上ノ天惠ヲ得タルモノナリト云フモ決シテ失當ノ言ニアラサルヘシ

尙ホ國ノ地形ハ動植物ニ關スルノミナラス人民ノ性質ニ關スルモノニシテ開明ノ發達ニハ關係少カラス地形ノ萬象ヲ備エテ人民ノ思想ヲ發達セシムルニ便ナルハ蓋シ島國ヲ最トス

合衆國西部ノ原野ノ如ク瀛車ニ駕シテ終日奔馳スルモ殆ント青山ヲ見ス水流ニ會セス日ハ東野ニ出テ、西野ニ沒スル如キ地形ハ現象單

勞力ヲ論
ス

一ニシテ人智ヲ開發スル手段ニ乏シキモノナリ詩人ハ山國ヨリ出テ
 平原ヨリ出テス是レ蓋シ性情ヲ開發スルノ方便ニ富ムカ故ナリ平
 原ヨリ出ツルモノハ獨リ天文家トス古昔ヨリ亞刺比亞埃及支那等ニ
 テ天文學ノ開ケタルハ地勢ノ然ラシムル所決シテ偶然ニアラサルナ
 リ亞弗利加ニ大沙漠アリ南亞米利加中央亞細亞ニ高原アリ皆人民ノ
 交通ヲ遮斷シ開明ノ進歩ヲ妨碍スルコト尠カラス之ニ反シ歐羅巴ハ
 山岳平地ノ列序最モ宜シキヲ得開明ノ發達ニ便ナルコトハ諸大州ノ
 及フ所ニアラス歐州ノ諸國ヲシテ今日ノ域ニ至ラシメタルハ蓋シ故
 ナキニアラサルナリ

勞力

勞力トハ生産ヲ爲スニ付キ人間カ費ス所ノ體力腦力ヲ云フモノニシ
 テ假令天然ノ力ヲ以テ如何程要用ノ貨物ヲ生出スルモ多少勞力ヲ加

別勞力ノ類

フルニアラサレハ人間ノ需用ニ供スルコトヲ得サルヘシ故ニ勞力ハ生産ニ必要不可欠ノモノナリ之ヲ類別スレハ左ノ如シ

第一發見及發明 Discoveries and inventions.

第二天然物ノ採取 Occupation of the spontaneous gifts of nature.

第三粗製品ノ生産 Production of raw materials.

第四製造 Transformation of raw materials.

第五貨物ノ分配 Distribution of goods.

第六材能智識ノ適用 Personal services.

第一發見トハ世ニ存在シテ未タ知レサルモノヲ見顯ハスコトニシテ發明トハ新タニ物ヲ組立ルカ又ハ新タナル方法ニ據リテ事物ノ用ヲ始ムルコトヲ云フ猶ホコロンバスハ亞米利加ヲ發見シタリガリシオハ望遠鏡ヲ發明シタリト云フガ如シ第二天然物ノ採取トハ天然ニ造

ラレタル物ヲ採取シテ人間ノ用ニ供スルヲ云フ例ヘハ野草ヲ採取シ
 テ食用ニ供シ或ハ深山ノ樹木ヲ伐採シテ材木ト爲シ以テ家屋ヲ建造
 シ或ハ石炭ヲ地中ヨリ掘採シ或ハ金銀ヲ礦山ヨリ得ル如キヲ謂フ第
 三粗製品ノ生産トハ農業ニシテ羊毛ヲ得ンカ爲メニ羊ヲ畜ヒ或ハ麻
 糸ヲ得ルカ爲メ麻ヲ殖エ絹糸ヲ得ンカ爲メ蠶ヲ養フカ如キヲ云フ第
 四製造トハ工業ニシテ粗製品ヲ以テ其形ヲ變スル猶ホ綿糸ヲ以テ木
 綿ヲ造リ木材ヲ以テ机ヲ製スルカ如シ第五貨物ノ分配トハ貨物カ生
 産セラル、モ只其場所ニ放棄セハ人間ノ用ヲ爲スコト甚小ナリ故ニ
 之ヲ需用アル所ニ分配スルヲ云フ即チ商業ナリ第六材能智識ノ適用
 トハ醫師教師官吏等カ其職務ヲ盡スヲ云フ
 以上第一第六即チ發見發明材能智識ニ係ル勞力ハ主トシテ腦力ヲ要
 ス尤モ幾分カ體力ヲ費サ、ルニアラス例ヘハ官吏ノ仕事ハ腦力ヲ要

スルノミナラス時トシテハ諸方ヲ奔走スルコトアリ又筆ヲ握リテ文字ヲ書クコトアリ算盤ヲ執リテ計算ヲナスコトアレトモ其主トスル所ハ腦力ヲ使用スルニ在リ第二、三、四、五ノ場合即チ天然物ノ採取粗製品ノ生産製造貨物ノ分配ニ至リテハ重ニ體力ヲ要スル者ニシテ例ヘハ深山ノ樹木ヲ伐採スルニモ斧越ヲ執リ刀鋸ヲ用ヒサレハ樹木ハ自然ト材木ト爲ルモノニアラス野芹海魚ノ如キ之ヲ摘ミ之ヲ漁スルニアラサレハ自然ニ臺所ニ入來スルモノニアラス其他農業ナリ製造ナリ將タ商業ナリ皆多少腕力ヲ費サ、レハ行ハル、モノニアラサルナリ今此數者ヲ總稱シテ經濟上ノ勞力トナス余輩カ今勞力ヲ論スルニハ體力ノ勞力ヲ主トスヘシ何トナレハ體力ノ勞力ノ經濟上重要ナルモノニシテ國家ノ生産上勞力ノ最大部分ハ皆體力ノ勞働ナレハナリ故ニ之ヲ研究セハ其一部分タル腦力ノ勞力ニ至リテハ自ラ其理ヲ明

ニスルヲ得ン

余輩カ前ニ掲ケタルハ勞力ノ種類ナレトモ其發達ノ順序モ亦右ノ次
 第二由ルカ如シ何ニテモ發見或ハ發明アラサレハ人間ノ用ニ供セラ
 ル、モノナルヤ否ヤヲ知ルヘカラス彼ノ伏羲神農等カ草木ヲ嘗メテ
 藥タルヲ發見シ或ハ五穀ヲ殖ルコトヲ發明シタルニアラサレハ藥草
 ヲ探ルモノナカルヘク農業ヲナスモノナカルヘシ故ニ發見又ハ發明
 ヲ以テ勞力ノ第一着トス次ニ天然物ノ採取トス人間カ魚ノ食トナス
 ヘキヲ知り獸皮ノ衣トナスヘキヲ覺ユレハ直チニ取リテ己レノ用ニ
 供セント欲スルハ自然ノ勢ナレハナリ而シテ無智ノ民牛羊ノ牧スヘ
 キヲ知ラス米麥ノ播殖スヘキヲ知ラス一ニ天然力ニ依頼シテ自然ノ
 生産物ヲ取リテ供スルノ外他ナカルヘシ然レトモ人口次第ニ増加ス
 ルトキハ到底天然物ニノミ依頼スルヲ得ス是ニ依テ牛羊ヲ畜ヒ穀物

ヲ殖ユルノ業起ル農業ヲ以テ諸種ノ物品ヲ生産スレハ之ヲ以テ諸ノ
物品ヲ製造スヘク生産盛ンナレハ其物産ヲ交換スルニ至ル尤モ製造
貿易ノコトハ農業ノ起ラサル以前ト雖モ存在スルヲ得ヘキモノニシ
テ多少之レ有リシナラン然レトモ製造業商業ト云フヘキ程ノモノハ
後ニ至リテ發達シタルハ疑ヲ容レサルナリ材能智識ノ如キモ亦然リ
發見發明モ亦材能智識ノ適用ニ外ナラサルヲ以テ當初ヨリ行ハレタ
ルコトナリ然レトモ材能智識ノ貴重セラレテ最モ盛ンニ行ハルハ世
ノ開明ニ進ミタル後ニアルモノニシテ其發達ノ順序ニ於テハ諸勞力
ノ最後ニ位スルモノナルヘシ
勞力ハ未開ノ世ニ於テハ兎角賤視セラレタルモノニシテ耕耘牧畜ノ
如キ多クハ奴隸ノ業トシ自由民ノ執ルヘキ業ニアラサルカ如ク考ヘ
タルモノナリ斯ノ如キ時代ニ在リテハ進テ勞力ヲ爲スモノナク止ム

チ得サルニアラサレハ勞力ヲ爲サ、ルヘシ幕政ノ頃大名ト唱ヘタル
モノハ室内ニ在リテ自己ノ帶スヘキ刀サヘ小姓ニ捧ケシメタリ從ツ
テ一身ノ舉動モ家來ノ手ヲ借ラサルコト殆ント無シト云フモ過言ニ
アラサルヘシ先ツ朝起キテ顔ヲ洗フニハ洗水ヲ供スルモノアリ頭髮
ヲ梳ラント欲セハ侍女アリテ梳リ食スルニハ膳ヲ供スルモノアリ衣
ヲ更ヘ足袋ヲ穿ツニ至ル迄皆他人ノ手ニ賴ラサルハ無キ程ナリ今日
ト雖モ我邦ニテ少シク生計ノ裕カナル家ニハ婢僕群ヲ爲シ終日無事
ニ苦ミ一人ノ勞働ハ一室ノ洒掃或ハ衣服ノ出納ニ止ルモノ少カラス
勞力ヲ疎ンスルモ亦甚矣ト云ヘシ然レトモ世ノ開明ニ趣クニ從ヒ勞
力ヲ漸次貴重スルノ念慮旺ンナルモノナリ既ニ述ヘタルカ如ク勞力
ハ生産ニ欠クヘカラサル要物タルヲ以テ見レハ固ヨリ之ヲ賤ムヘキ
道理無シ其必要ナル勞力ヲ賤ム如キニ至リテハ國家ノ經濟何ヲ以テ

進ムヲ得ンヤ國家ノ經濟進メハ國民ノ開明進歩シ開明進歩スレハ國
家ノ經濟モ亦進歩スルハ一ニハ勞力ヲ貴重ニスル効ト云フヘキナリ
古昔ニ在リテハ歐州ノ或國ニ於テモ勞力ヲ賤メタルモノナレトモ希
臘ハ夙ニ開明ノ進歩シタルヲ以テ雅典ニ於テハ(紀元前五百年頃)ソロ
ン王ノ時己ニ懶惰ノ民ヲ罰スル法アリキ今日吾人ノ社會ニ於テモ往
々勞力ノ貴重スヘキヲ説クモノアリ實際ニ於テモ攝生運動ト唱ヘ富
貴ノ人自ラ耒耜ヲ後園ニ執ルモノアルモ人却テ之ヲ賞讚シ敢テ之ヲ
怪マサルニ至レリ
又人民カ銳意進ンテ勞力ヲ爲スト否トハ大ニ各自カ勞力ノ結果ヲ私
有スルコトヲ得ル大小如何ニアルモノナリ勞力ノ結果ヲ有スルコト
大ニシテ安全ナルトキハ人々自ラ進テ勞働ヲ爲スヘク從ツテ勞力ノ
効驗必ス大ナルヘシ故ニ奴隸ノ勞力ハ効驗甚タ小ニ日傭勞力ハ請負

勞力ノ効驗ノ大ナルニ如カス元來奴隸ハ牛馬ト均シク主人ノ所有物ナルカ故ニ勉強努力ハ却テ己レノ利トナラス徒ラニ一身ヲ勞スルニ過キス己レノ利益ハ獨リ逸ヲ窺ムニ在リ是ヲ以テ勞力ノ効驗極メテ小ナリ

西印度ニ於テハ嘗テ奴隸ハ一週間ニ一回午後ノミ自己ノ爲メニ勞働スルコトヲ許セリ然ルニ其半日間ニ奴隸ノ勞働スル結果ハ主人ノ爲メニ一週間ニ勞働スル結果ト畧ホ相同シカリシト云ヘリ又魯西亞ノヘルンストフ伯ノ所有地ニテ農奴解放前後ノ收穫ヲ對照シタルニ裸麥ハ從前一石ヲ產シタルモノ二石七斗餘ト爲リ大麥ハ二石三斗餘ト爲リ燕麥ハ三石ト成レリ勞力ノ結果ヲ私有セシムルト否トニ由リテ効驗ノ差異ヲ生スルコト實ニ驚クヘキモノニアラスヤ集治監囚徒ノ勞力ノ如キモ亦此類ニシテ囚徒ハ通例甚ダ不勉強ナルモノナリ是レ

ナ以テ懲戒ノ爲メナレハトテ純然タル奴隸ノ如ク無報酬ニテ勞働セシムルトキハ經濟上ノ不利少カラス(合衆國ノ奴隸ハ重ニ農業ニ使役シタルモノナルカ之ニ馬ヲ使用セシムルコト能ハス騾馬ヲ使用セシメタリ何トナレハ馬ヲ使用セシムルトキハ殘酷ニ使用スルユヘ其生命ヲ害フヲ以テナリ其他鋤、鋸ニ至ルマテ手荒ク使用スルヲ以テ疎ニシテ堅牢ナルモノヲ用ヒタリト云フ)我國囚徒ノ如キ幾分ノ勞銀ヲ與フルコト、ナシタルハ蓋シ多少勞力ノ結果ヲ私有セシメテ其效驗ヲ増スノ方便ナラン

日傭勞力者ハ其勞力ニ從事シタル日ハ必ス其報酬ヲ得ヘキカユヘニ獎勵セラレテ勞働ニ就クヘシ然レトモ請負者ノ踴勉努力ナルニ如カス何トナレハ日傭勞力者ハ業ニ就キタル日ハ其日ノ勞銀ヲ得ルコト勉強ノ度ニ據リテ異ナラサレトモ請負勞力者ハ勞働ノ多少ニ由リテ

其得ル所ノ報酬ヲ異ニスレハナリ英人ブラツセー氏ハ多クノ勞力者
 ナ使用シタル人ナルカ氏ノ説ニ依レハ鐵道建築ニ於テ地ヲ平均シ土
 ナ堀ル如キ下等ノ業ニ日傭ト請負トヲ比スルニ同シ勞力者ニテ日傭
 ニスレハ一「ヤード」ニ付キ十八「ペンズ」ヲ要スレトモ請負ナレハ一「ヤル
 ド」ニ付キ僅ニ七「ペンズ」ニテ足レリト云ヘリ吾人カ家ヲ造ルニモ工事
 ナ請負トスレハ大工ハ朝早ク來リ夕ハ晚ク去リ休息時間モ短クスル
 ナ以テ豫定ノ工手間ヲ要セサルモノトス是レ大工ハ逸スレハ益ナク
 シテ損アリ勞スレハ自ラ其利ヲ收ムルコトヲ得ルカ爲メニ勉強スル
 ナリ

斯クノ如ク勞力ノ效驗ハ其結果ヲ私有スルコトノ大ナルニ從ヒテ之
 ナ大ニスルコトヲ得ルカ故ニ請負勞力ノ如ク其報酬ヲシテ勞力ノ多
 寡ニ應セシムルノ方法ハ勞力ノ効驗ヲ大ニスヘキヤ論ヲ待タサルナ

リ然レトモ元來請負法ノ爲メニ勞力ノ効驗ヲ増スヘキモノハ仕事ノ品質ニアラスシテ仕事ノ高ニ在リ是ヲ以テ事業ノ性質ニ依リ之ヲ施行シテ利アルモノアリ却テ不利ナルモノアリ試ミニ日傭勞力ト請負勞力トノ得失ヲ對比センニ之ヲ米麥ノ收穫ニ使用セハ收穫ハ時日ヲ爭フモノナルカ故ニ日傭勞力者ヲ使用スルトキハ勞力者ノ時間ヲ徒費セサル様注意監督ヲ要シ之ニ反シテ請負勞力トナル時ハ勞力者ハ矢鱈無暗ニ仕事ヲ急クカ故ニ雨天ヲモ厭ハス刈採ヲ爲シ長莖ヲ地ニ委シテ顧ミス穀實ノ散亂スルモ之ヲ意トセサル嫌アリ世ニ同種ノ物品ニシテ數物ト稱スルモノアリ是等ハ請負法ニ由リ數量ヲ多ク生産スルヲ主トシタルモノニシテ外形ハ美ナルモ品質ハ危弱ナルトカ品質堅強ナレハ精巧ヲ欠クトカ決シテ完全ナルモノニアラサルナリ然レトモ通例是等ノ物品ハ低價ニシテ需用者ノ爲メ頗ル便ナルモノナ

リ左レハ請負勞力ノ効驗ハ大ナルヘキモ思慮綿密ニ闕ク所アリ仕事
ノ品質精良ナルヲ撰ハサル事業ニ請負勞力ヲ用フルハ利アルヘシト
雖モ思慮注意ヲ重ニスル事業ニ至リテハ用フヘカラス又事業ニ依リ
テハ請負勞力ヲ用フヘカラサルモノアリ例エハ學校ノ有名ナル教授
ノ如キハ一日教授スル勞力ヲ計算シテ報酬ヲ與エテ買フモノニアラ
ス其教授ノ進退ハ一校ノ盛衰消長ニ關係スルコト大ナルヲ以テ名譽
ト云無形物ニ對スル報酬ヲ要スルヲ以テ也又官員ノ如キモ時間ト事
業トニ依リテ報酬ヲ爲スモノニ非ス蓋官吏ハ國家ノ爲メ身ヲ投シテ
従事スヘキモノニシテ商人根性ヲ出サシムヘカラサルカ爲メナリ兵
士ノ如キモ敵ノ首級ヲ幾何獲ルモノハ報酬幾何ト定メテ服役セシム
ルトキハ平常無事ノ日ニハ兵士ハ饑寒ヲ免レサルヘシ又一家内ノ家
婢ノ如キ爨炊洗濯ノ勞ヲ計算シテ報酬ヲ與フル者ニ非ス是レ家婢ノ

如キハ家内ニ止宿スルコト傭主ノ便ヲナスヲ以テ便利ト云フ無形ノ
モノニ對スル報酬ヲモ合セ與フルモノナレハナリ加フルニ請負ハ勞
働ヲ獎勵スル益アリト雖モ亦勞働ヲ過度ニスル患アリ懶惰ノ者ハ過
度ニ勞働セヨト云フモ決シテナサ、ルヲ以テ心配ナシト雖モ正實熱
心ノ徒ハ我身ヲ顧ミス眼前ノ利益ニ釣ラレテ過度ニ勞働シ遂ニ身體
ヲ害スルコトアリ然ルトキハ一國ノ經濟上甚シキ損失ヲ生スヘシ夫
レ人間ハ幼少ノ時ハ勞働シテ生産ヲナサス他ノ生産ニ養ハルモノナ
レハ成長ノ後ハ自ラ生産シテ之ヲ償フハ處世ノ義務ナリ然ルチ十分
ニ其義務ヲ果サスシテ早く已ニ身ヲ害ヒ早世セハ國家ノ損失トナル
ヘシ是レ身ヲ利セント欲シテ却テ損失ヲ生スルモノナリ豈ニ申譯ナ
キコトナラスヤ

右ノ如ク請負勞働ハ一得一失ナリト雖モ利益ヲ勞力者ニ分與スルノ

法ヲ以テ多少此不便ヲ避クルヲ得ヘキナリ今勞力者ニ許スニ其從事
 スル事業ノ利益ノ幾分ヲ配賦スルヲ以テセハ單ニ勞力者勞働ノ量ヲ
 増加スルノミナラス材料ヲ節儉シ品質ヲ精良ニスルニ至ルヘシ此方
 法タル畜ニ請負勞力者ニ於テノミ用ユル利アルニアラス總テ仕事ヲ
 綿密ニナスヲ要スル事業監督ヲ施シ難キ事業ニ用ユルヲ良トス嘗テ
 歐洲ノ「ライン」鐵道ニテ器械ニ使用スル油ノ徒消セラル、ヲ憂ヒ若シ
 油ヲ節儉シテ餘剩ヲ生セハ其幾分ヲ以テ取扱人ニ與フヘシト定メタ
 ルニ爾後瀛車ノ運轉増加シタルニモ拘ラス從前油ノ費用二万七千「タ
 ーレル」ヲ要シタルニ減シテ五千「ターレル」ニテ足ルコト、ナレリト云
 フ

次テ勞力者ヲシテ勞働ニ進マシメンニハ自由競争ナルモノヲ要ス勞
 力ノ競争自由ニ行ハル、トキハ勞力者ノ已ニ得タル地位モ安全トシ

テ頼ムニ足ラス其地位ヲ得サルモノハ進ンテ之ヲ取ラントスル期望アリ故ニ勞力者ハ常ニ恐懼ト期望ノ間ニ立チテ毫モ惰ルコトヲ得ス從ヒテ益々努力事ニ從フヘキナリ加フルニ勞力者各自ラ其職業ヲ撰ムヲ以テ各適當ノ業務ヲ執リ天性ノ長技ヲ發達スルコトヲ得テ勞力ノ効驗益大ナルヲ得ヘシ昔時封建代ノ如ク武士ノ子ハ必ス武士タルヘク醫師ノ子ハ必ス醫士タルヘク商人ノ子ハ必ス商人タルヘキモノト定メアルトキハ決シテ勉強ノ効ヲ見ルコトヲ得サルヘシ如何ニ智識ニ富ミ才能ニ秀テタリトテ足輕ハ一生足輕ナリ學者モ家柄ニアラサレハ近眼ニテモ弓ヲ射鐵砲ヲ放タサルヘカラス事實斯クノ如クナレハ實ニ勞力ニ効驗ナキノミナラス危害ナル勞力ト云フヘキナリ之ニ反シテ優游懶惰ニ日ヲ消スレハトテ大名ノ子ハ大名タリ賢愚ノ別ナク臣下ハ來リテ己レノ前ニ低頭平身スヘク大夫ノ子ハ必ス執政ト

カ參政トカ稱シテ一領地ノ政權ヲ掌握スルコトヲ得ヘク別ニ恐懼ト云フ刺衝モナク期望ト云フ獎勵モ無ケレハ熱心勉強シテ進取スルノ氣象モ無カルヘシ華族ヤ富豪ノ怠惰ナル故ナキニアラサルナリ又教育ハ何處ニモ要用ナルモノナレトモ勞力ニ於テモ影響少カラス夫レ人間ノ教育ナキモノハ需用甚少シ只眼前肉體ノ慾ヲ逞フスルヲ以テ満足シ進ンテ勞力スルヲ欲セス安逸ヲ以テ無上ノ快樂ト考フルカユヘニカメテ勞働ヲ避ケントスルモノナリ然ルニ教育アルモノハ其需用タルヤ多シ之ヲ満足セント欲セハ勉強勞力スルニアラサレハ得ヘカラス之ヲ以テ銳意勞働シテ倦マサルナリ故ニ概シテ未開國ノ人民ハ懶惰ナリ懶惰ナリ懶惰ナルカユヘニ人民進歩セス開明國ノ人民ハ勉強ナリ勉強ナルカ故ニ益々進歩ス語ルモ快カラサルコトナカラ我邦勞力者ノ有様ハ實ニ衰レナルモノアリ試ミニ府下勞力者ニ就テ云ハンニ

朝八時頃仕事場ニ出テ先ツ喫煙シテ多少ノ時ヲ費シ僅ニ仕事ニ着手スルヤ十時比トナレハ又喫煙シテ二三分ヲ費ヤシ十二時トナレハ午飯ヲ喫シ次テ喫煙シ夏時ナレハ一睡シテ二時後ニ至リ仕事ニ掛ル三時後ニ至レハ又茶ヲ飲ミ喫煙ヲナシ五時比ニ至レハ去ル蓋シ一日中實際勞力ヲナス僅々五六時間ニ過キサルヘシ如此キ勞力ノ有様ニテハ其効驗ノ大ナランコトヲ望ムモ決シテ得ヘカヲサルナリ人間固有ノ性質ニ依リテ勞働力ヲ異ニスルモノニシテ一チ國性トシ一チ人性トス「アングロサクソン」人種ハ筋骨ノ勞働力非常ニ強壯ニシテ世界無比ト稱ス故ニ英人ノ勞力者一人ノ勞力ハ佛國勞力者ノ二人魯西亞國勞力者ノ三人ニ相當スト云ヘリ又ヘレスポンド海岸ニ農業ヲ爲ス英國人ハ土耳其ノ勞力者ニ一ケ年三「ポンド」ヲ拂ハンヨリ寧ロ希臘ノ勞力者ニ十「ポンド」ヲ拂フナ利トスト云フ皆是國性ニ由リテ勞

働力ヲ異ニスルモノナリ其然ル所以ノモノハ一ハ人種ニ天性ノ差異
 アルト一ハ勞力者生活ノ形狀ヲ異ニスルトニ在ルヘシ歐洲ノ俚諺ニ
 「イングリシ、イノルヂ」「ゼルマン、インテリゼンス」「フレンチ、テースト」ト
 稱シ英國人ハ体力ニ強ク日耳曼人ハ智力ニ富ミ佛國人ハ意匠ニ秀ス
 ルヲ以テ各其擢ンテタル性質トス故ニ英人ハ農業坑山及製造所等ニ
 使用スルニ適シ獨乙人ハ智識學問ニ長スルヲ以テ事物ノ原理ヲ發見
 スルコト多ク佛國人ハ衣服裝飾等時ノ流行ヲ工夫スルニ巧ミナルヲ
 以テ歐洲ノ流行ハ多ク巴黎ヨリ始マル又蘇蘭士人ハ謹直ノ性質ナル
 ニ由リ銀行家ニ適シ伊太利人ハ伶俐ナルヲ以テ商家番頭手代等ニ適
 ス右ノ如ク人種ニ依リ天性ニ差異アルヲ以テ之ヲ見レハ勞働力ニモ
 自ラ差異ナカルヘカラス嘗テ合衆國南北戰爭ノ時陣中ニテ物体ヲ舉
 グル腕力ヲ調査シタルニ左ノ結果ヲ得タリ

白人ノ兵士 三百十四斤乃至三百四十三斤
 白人ノ水兵 三百七斤
 學生 三百八斤
 黑人 三百二十三斤
 黑白交生人 三百四十八斤
 土人 四百十九斤
 然ルニ腕力ノ多少ヲ以テ直ニ其勞働力如何ヲ決スルヲ得ヘキモノニ
 非ス腕力ハ身體ノ巨大ナルモノニ多ク存シ矮小ナルモノニ少キハ通
 常ナレトモ勞働力ハ必シモ腕力ニ由テ其優劣ヲ決スルヲ得ヘカラサ
 レハナリ例エハ梅ヶ谷ハ力士ヲ專務トスルモノユヘ腕力ハ定メテ多
 キニ相違ナシト雖モ勞働力ハ必シモ多シト云フヘカラス勿論他ノ事
 カ同一ナレハ腕力ノ強キ者ハ最モ多ク体力上ノ勞働力ヲ有スヘキ理

ナレトモ其身体健全ナラサレハ勞働力少ナカルヘク又怠惰ノ人民ナ
レハ勞働力少ナカルヘシ鬼ヲ欺ク大達ヤ梅々谷モ病氣ナレハ如何ト
モスル能ハス四百十九斤ヲ舉クル亞米利加ノ土人ト雖モ只日子ヲ徒
消スルヲ知リテ勞力ニ就カサレハ其腕力モ効ナカルヘキヲ以テナリ
開明ノ程度社會ノ形情ニ依リ勞力者ヲ賤視スルカ爲メニ勞力者ノ給
與薄クシテ其生活ノ有様ノ非常ニ賤惡ナルトキハ勞力者ハ決シテ天
性ノ勞働力ヲ發達スルコト能ハサルヘシ嘗テ佛國ニテ經驗シタル所
ニ據レハ佛國ノ勞力者ハ英國ノ勞力者ニ及ハストスレトモ是レ佛國
ノ勞力者ハ食物ノ粗惡ナルカ爲メニ英國勞力者ニ及ハサル者ニテ佛
國ノ勞力者ト雖モ英國勞力者ト同一ノ食物ヲ與フレハ決シテ優劣ナ
シト云ヘリ果シテ然ルヤ否ヤハ知ラサレトモ食物ノ良否ニ由リテ勞
働力ニ差異ヲ生スルコトハ決シテ疑フ可ラサルナリ余嘗テ一老農ノ言

ヲ聞クニ農業勞力者ヲ使役スルニ一日間ニ一回ハ味噌汁ヲ與フルト
キハ單ニ香ノ物ノミヲ與フルトキヨリ余程利益アリト云ヘリ若シ此
勞力者ニ東京通常人ノ食スル食物ヲ與ヘハ定メテ一層勞力ヲ増スナ
ラン是レハ簡單ナル一場ノ茶話ナレトモ甚タ其理アルカ如ク考フル
ナリアダムスミス氏嘗テ云ヘルコトアリ曰ク勞銀ノ供給十分ナルト
否トニ由リテ大ニ勞働ノ効驗ヲ異ニスヘク下民ニ在リテハ給與ノ惡
シキ割合ニ勞働ノ足ラサルモノナリ云々ト勿論給料ノ二割低キモノ
ハ勞働モ亦二割丈足ラスト云フカ如ク比例スルモノニアラスト雖モ
下等ノ勞力者ニ至リテハ給料ノ少ナケレハ其勞働ハ幾分カ少ナキニ
ハ相違ナシブラツセー氏ハ鐵道ノ敷設請負ヲナシ實際種々ノ外國人
ヲ使役シタル人ナルカ其經驗說ニ據レハ勞銀低キ國ニテハ勞力ノ生
産力小ニ勞銀高キ國ニテハ其生産力大ナリト云ヘリ現ニ獨逸メクレ

シホルグノ日傭勞力者ハ撒遜チユリンダノ勞力者ニ比シテ食物ノ
 量ハ殆ント倍スレトモ其勞働スルコトモ亦殆ント之ニ倍スト云フテ
 以テ之ヲ見レハ勞力者ノ給與ヲ十分ニスルハ却テ利タルヘキハ疑テ
 容レサルナリニ至リテハ餘利ハ幾クモハ其勞働ハ幾クモハ其
 人性ニ依リテ勞働力ヲ異ニスルトハ人間男女ノ違年齢ノ差是ナリ凡
 ソ男ハ強ク女ハ弱キハ萬國普通ノ理ニシテ開明ノ進歩シタル程男女
 ノ差違甚シ其譯ハ未開國ニ於テハ勞力者ヲ賤ムヨリ自然弱キモノハ
 強キモノニ使役セラレテ以テ女子ノ勞働スルコト甚タシキモノトス
 現ニ沖繩ノ如キ男ハ内ニ坐シテ喫煙シ女ハ店ニアリテ外人ト賣買取
 引ヲナスト云フ是レ蠻野ノ餘臭ノ尙存スルモノナルヘシ事實如此ク
 ナレハ女子勞働自ラ激烈ナルヘキヲ以テ腕力モ自ラ發達スヘキナリ
 蓋シ又人間ノ最モ盛ナル年齢ハ男女共ニ三十歳前後トス而シテ開

民國ニ於テハ男女三十歳ニシテ腕力ノ差ハ九ト五トノ割合ナリト云
フ勿論婦人ニシテ力ノ強キ巴御前板額ノ如キアリ男子ニシテ巴御前
ニ組敷カル、モノモアレトモ之ヲ平均スルトキハ右ノ如キ差異アル
モノナリ加之ナラス女子ハ勞働スレハトテ毎月休息セサルヘカラサ
ル日アリ産兒ノ役アリ育兒ノ職アリテ勞働ヲ爲シ難キ時間多シ故ニ
其勞働力ハ遙ニ男子ニ及ハサルモノトス左レハ男女ノ人口其比例ヲ
得スシテ女子多ク男子少ナケレハ國ノ生産力ヲ失フコト大ナルヘシ
已ニ腕力ニ於テ女子ハ遙ニ男子ニ及ハス加フルニ女子ハ年中勞力ニ
就クヲ得ヘキ時少キヲ以テ之ヲ見レハ女子ノ勞働力ハ如何ニ大ナル
モ蓋シ二人ヲ以テ男子一人ニ當ルヨリ大ナルコトハナカルヘシ由是
觀之ハ女子ノ多キニ過クルハ豈ニ國家ノ利タランヤ
又年齢ニ由リテ勞働力ニ大差ヲ生スヘシ人間ハ生レナカラニシテ直

子ニ勞カスルヲ得ヘキニアラス金時ト雖モ生誕ノ日斧ヲ振廻シタル
 ニアラス皆幼少ノ時ハ筋骨未タ發達セス又老テハ筋骨已ニ衰フヲ以
 テ勞カニ堪ユル能ハス故ニ人間ノ花盛リトモ云フヘクシテ最モ勞働
 ニ堪ユルハ壯年ノ時ニアリ蓋シ男子ハ二十五歳ヨリ四十五歳マテヲ
 以テ通例最モ盛ナル時トス其勞働力ノ最モ大ナルハ此時ニアリ我
 邦ニテハ人間ノ生長少シク早キ故カ普通廿歳ヨリ四十歳マテヲ以テ
 最壯ノ年齢トナスカ如シ故ニ四十歳ヲ初老ト稱シ人間ハ此時ヨリ衰
 エ初ムルモノトセリ土地ノ氣候ニ依リテ少々差異ハアレトモ二十歳
 以上四十五歳以下ノ間ハ人間ノ最モ強壯ニシテ最モ勞働ニ堪ユル時
 ナルニ相違ナシ日耳曼ニ於テ嘗テ勞力者カ疾病ノ爲メニ勞働スル能
 ハサル日數ヲ調査シタルヲ見ルニ左ノ如シ
 十五歳ヨリ十九歳マテニ
 七日十分ノ二

二十五歳ヨリ二十九歳マテ 九日十分ノ三
 三十歳ヨリ三十四歳マテ 七日十分ノ五
 三十五歳ヨリ三十九歳マテ 七日十分ノ八
 四十歳ヨリ四十四歳マテ 八日十分ノ三
 四十五歳ヨリ四十九歳マテ 十一日十分ノ六
 五十歳ヨリ五十九歳マテ 十四日十分ノ一
 右ハフエングル氏ノ調査ニ係ル又ヴイラルメー氏ノ調査ニ據レハ六十歳以上ノ疾病日數ハ左ノ如シ
 六十歳ニテ 十六日 六十七歳ニテ 四十二日
 六十五歳ニテ 三十一日 七十歳ニテ 七十五日
 此表ニ依ルモ二十五歳ヨリ四十五歳位マテノ間ハ最モ疾病少シ斯ク身体強壯ナレハ氣力モ亦旺盛ナルヘク人間ノ勞働チナスコトノ最モ

盛ンナル時ナルヲ見ルヘシ故ニ國ニ二十歳以上四十五歳以下ノ人民多ケレハ人口ノ割合ニ其國ノ勞働力ハ他ノ事カ同シケレハ大ナルヘキヲ以テ經濟上利アルモノトス左レハ歐州大陸諸國ニ於テ今日ノ如ク國ノ壯丁ヲ驅リテ巨万ノ常備軍ヲ養フカ如キハ大ニ國家ノ產生力ヲ減スルモノニシテ止ムヲ得サルコトハ云ヒナカラ經濟上ニ於テハ爲メニ大損失ヲ免レサルモノトス若シ此輩ヲシテ或ハ農業ニ或ハ工業ニ就カシメハ直接ニ其國ノ生産ヲ増スコトヲ得ヘキヤ決シテ疑ヲ容レサルナリ

習テ述ヘタル如ク勞力ハ生産ノ必要物ナレトモ如何ナル勞力ニテモ生産ヲナスモノトハ云ヒ難シ故ニ勞力ヲ分チテ生産勞力不生産勞力トナス生産勞力トハ有用ノ勞力ニシテ貨物ノ需用ニ關シ社會ニ功益ヲ與

二十五年... 二十五年... 二十五年... 二十五年... 二十五年...

ブルモノヲ云フ本々ハ其ノ業ヲ爲スルモノナリ如何ニ力瘤ヲ生シ汗ヲ絞ルモ他人之ヲ買ハサルハ其無用ナルカ爲メナリ假令之ヲ買フモノアルモ其勞力タル直接ニ貨物ヲ作爲セサルハ勿論間接ニモ貨物ノ生産ヲ助ケサルモノハ生産勞力トハ云ヒ難シ例エハ隱居ノ小間使ノ如シ如何ニ奔走シテ茶ヲ酌ミ烟草盆ヲ掃フモノ之ニ依リテ生産上ニ益スルコトナカルヘシ之ニ反シテ農夫カ田畑ニ立テ雀鴉ヲ逐ヒ巡查ノ夜ヲ守リテ放火盜賊ヲ警メ教師カ子弟ヲ教育シ醫師ガ病者ヲ診察スルカ如キハ直接ニ貨物ヲ生産セサレトモ間接ニ生産ヲ助クルコト大ナリト云フヘシ何トナレハ雀鴉ヲ追エハ收穫ヲ大ニスルヲ得ヘク放火盜賊ナケレハ人民其業ニ安スルヲ得ヘク子弟ヲ教育スレハ其智能ヲ進ムヘク病者ヲ療治スレハ健全ニシテ業ニ就クヲ得ヘケレハナリ

資本

夫レ生産ヲナスニハ勞力ヲ要セサルコトナシト雖モ資本ハ必シモ之ヲ要セサルコトアリ例ヘハ徒手ニシテ山中ノ木實ヲ集メ沼邊ノ野芹ヲ探ルカ如キ之ナリ如此キ簡單ナル生産ト雖モ木實ヲ集ムルニ袋ヲ用ヒ野芹ヲ探ルニ籠ヲ携フレハ此袋及籠ハ即チ資本ナリ故ニ開明國ノ生産ニ於テハ資本ヲ要セサルハナク資本ナケレハ生産大ニ發達スルヲ得ス生産發達スルニ從ツテ資本ノ用益々大ナリトス請フ今ヨリ資本ノ性質ヲ論セシメバ、資本トハ過去ノ勞力ノ結果ニシテ、將來ノ生産ニ使用スルカ爲メニ貯蓄シタルモノヲ云フ元來資本ハ貨物ノ使用上ヨリ定マルモノニシテ貨物固有ノ性質ニアラス故ニ生産ニ使用スルニアラサレハ資本トナル一ノ貨物モ資本タルヲ得ス而シテ又過去ノ勞力ヨリ生シタル貨物

ヲ貯フルニアラサレハ資本ヲ得ル能ハス試ニ渾沌タル天地間ニ人間
カ新タニ生出シタル有様ヲ想像セヨ其食ヲ得ルニ漁獵セン方漁網弓
矢ノ用ユヘキモノアルニアラス漁網弓矢ヲ製センカ其製造成ルニ至
ルマテ何ニ依テ生活セン只一身ニ屬スルモノハ四肢ノ以テ用ユヘキ
アルノミ故ニ先ツ其四肢ノ勞働ニ依テ食ヲ得サルヘカラス此ニ於テ
水中ニ魚アルヲ見テ四肢ノ作用ヲ以テ僅ニ毎日三尾ノ魚ヲ手獲スル
ヲ得タリトセン然レトモ此方法ニ依テ生産スルトキハ單ニ天然物ニ
勞力ヲ加フルニ過キサルヲ以テ生産甚タ難ク日々ノ食ヲ得ルノ外他
ニ需用ヲ満足スルヲ得サルヘシ此際若シ奮發シテ只食欲ヲ満足スル
ヲ事トセス毎日捕フ所ノ魚ハ其二尾ヲ食トシ少シク空腹ナルヲ辛抱
シテ一尾ヲ貯蓄セハ十日ニシテ十尾ヲ得ヘシ然ルトキハ後五日間ノ
捕魚ニ從事セスシテ漁網ヲ製スルモ敢テ餓死スルコトナカルヘシ是

レ已ニ魚十尾ノ資本アレハナリ漁網成ル後ハ一日ニ數十尾ヲ得ヘキ
ヲ以テ衣服モ製スルコトヲ得ヘク住居モ造ルコトヲ得ヘキナリ尙一
歩ヲ進ミ己ニ諸多ノ資本アリテ農業ノ行ナハル時代トナレハ如何ナ
ル有様ニ資本ヲ増加スルヤヲ見ン今一農夫アリ百俵ノ米ヲ生産シタ
リトセハ此百俵ハ次年ノ收穫マテ我衣食ニ供シ次回ノ種子ニ供シテ
尙餘リアルヘシ假ニ其餘米五十俵アリ之ヲ以テ更ニ田地壹町ヲ買入
レ勞力者ヲ傭フテ耕作シ又三十俵ノ收穫ヲ得ハ以後毎年百三十俵ヲ
生産スルニ至ルヘシ之ニ反シテ若シ農夫カ餘米五十俵ヲ賣テ酒食ノ
用ニ供セハ一時ノ快樂ヲ得タルニ過キス我資産ヲ増加スル能ハサル
ノミナラス五十俵ノ代リハ世ニ生産セラレスシテ酒食ト消失スヘシ
由是觀之ハ目前ノ快樂ヲ忍ヒ辛抱シテ貯蓄ヲナスニアラサレハ資本
ヲ生スルヲ得ス又之ヲ増加スルヲ得サルナリ

- 資本ハ左ノ貨物ヲ以テ成ルモノトス
- 第一 土地改良ノ結果 (Soil improvement.)
 - 第二 建築物 (Building.)
 - 第三 器具機械器物 (Tool, machine, utensil.)
 - 第四 勞働ニ使用スル動物 (Useful and laboring animal.)
 - 第五 製造素品 (Materials for transformation.)
 - 第六 補助物品 (Auxiliary substance.)
 - 第七 生活用品 (Means of subsistence.)
 - 第八 貿易品 (Commercial stock.)
 - 第九 貨幣 (Money.)
 - 第十 無形資本 (Incorporial capital.)
- 第一 土地改良ノ結果トハ「ソイル、インプル」ガメント」トテ或ハ疏水シ

テ沼地ヲ變シテ田地トナシ或ハ灌水法ヲ施シテ原野ヲ以テ耕地トナシ或ハ隄防ヲ築テ水害ヲ防キ或ハ牆圍ヲ結ンテ耕地ヲ保護スルカ如キヲ云フモノニシテ其改良シタル結果ハ皆生産ノ資本トナルヘキモノトス第二建築物ハ工場倉庫居宅ノ如キ鐵道堀割馬車道ノ如キモノニシテ製造ヲナスニハ工場ナカルヘカラス物品ヲ保藏スルニハ倉庫ナカルヘカラス生産者ノ住居ニ家宅ナカルヘカラス貨物ノ運輸ニ鐵道堀割馬車道ノ便ヲ要スルモノニシテ皆生産ヲ資クヘキモノトス第三器具ハ刀鋸斧鉞ノ如キ勞力者ノ手ヲ以テ使用スルモノヲ云ヒ機械ハ水車風車蒸氣機械ノ作用ニ據リテ運轉シ勞力者ハ只其運轉ヲ補助指揮スル所ノモノヲ云ヒ器物ハ家具厨具船車ノ如キ一身ノ需用ニ供スルモノ又ハ貨物ノ貯蓄運搬ノ用ニ供スルモノヲ云フ第四勞働ニ使用スル動物トハ人力ヲ以テ繁殖畜養シ生産ノ爲メニ使用スル所ノモ

ニシテ牛馬ノ類ヲ云フ第五製造粗品ハ物品ヲ製造スル粗製品ニシテ織物ヲ製スル生糸綿糸羊毛ノ如キ家屋ヲ作ル木材煉瓦石材ノ如キ或ハ製造品ノ裝飾ニ用ユル材料即チ金箔彩料ノ如キモノヲ云フ第六補助物品ハ直接ニ其形ヲ生産物品ニ顯サス只生産ヲ補助スルニ過キサ
ルモノ例ヘハ製鐵ニ使用スル石炭鑛物採掘ニ用フル硝藥ノ如キヲ云フ第七生活用品トハ生産者ノ生活ニ必用ナル食料衣服ノ如キヲ云フ貿易品トハ商賈力買手ノ需用ニ應スル爲メ備ヘ置ク所ノ賣品ヲ云フ第九貨幣ハ百般ノ引取上使用スル所ノモノニシテ或ハ勞力者ノ備賃或ハ物品ノ買入代價或ハ機械家屋ノ修繕料等ヲ仕拂フニ要用ナルモノトス第十無形資本ハ智識材能信實熟練名聲ノ如キ生産ノ結果ハ有形資本ト異ナルナキモノトス只無形資本ハ之ヲ使用スルモ概シテ消費セラレサルモノナリ又無形資本モ賣買讓與ヲナシ得ヘキモノナリ

則チ商店ノ暖簾ト稱スルモノ、如キ公衆輻湊ノ場所ニ茶店ヲ出ス權
利ノ如キ是ナリ
資本ト爲ルルヘキ貨物ノ種類ハ右ニ揚ケタル如クナレトモ之ヲ資本
トナラシムルニハ使用スルコトヲ必要トス徒ラニ是等ノ貨物ヲ貯藏
保存シテ使用セサレハ資本タルヘカラス左レハ此諸貨物ヲシテ資本
タラシメント欲セハ其用ニ從ツテ生産ニ使用スルニ在リ支那人ハ漢
ノ景帝ノ時都鄙倉廩皆滿京師錢貫朽不可校太倉ノ粟陳々相因抔ト稱
シテ政府ノ富ヲ誇レトモ是等ハ資本タラシメサルヲ以テ生産上ニ益
ナキコトハ守錢奴カ庫中ニ金錢ヲ推積シテ樂ムト一班ナリ夫レ資本
ノ保存ハ尙ホ人々ノ子々孫々相續テ絶ヘサルカ如ク之ヲ消費シテハ
生産シ復之ヲ消費シテハ再ヒ生産スルモノニシテ徒ラニ貯積シテ使
用スルコトナケレハ其貨物ハ何ノ用ヲモナサス五穀ノ如キハ遂ニ腐

蝕シテ人ノ需用ニ供スル能ハサルニ至ラン然ルトキハ粒々辛苦ノ結
果モ火ニ燒キ水ニ投スルト同一ナリト云ヘシ
爰ニ一ノ注意スヘキハ世人動モスレハ資本ハ必ス貨幣ニ限ルト考フ
ルコト之レナリ今其誤謬ヲ來シタル因由ハ他ナシ總テ財産ヲ算ルニ
貨幣ヲ以テシ百業ノ資本ヲ算ルニモ貨幣ヲ標準トシテ甲業ノ資本幾
何ト云ヘハ何万何千圓ト稱シ合本會社ノ如キモ資本ヲ集ムルニ多ク
ハ貨幣ヲ以テシ貨幣サエアレハ如何ナル事業ヲ營ムニモ實際差支ナ
キヨリ深ク資本ノ性質ヲ思ハス直チニ貨幣ヲ以テ資本ナリト考フル
ニ至リシモノナリ尤モ貨幣ハ需用ノ廣キカ故ニ交換上至便ニシテ貨
幣サエアレハ何時ニテモ殆ント其欲スル所ノモノヲ得ヘキモノナレ
トモ貨幣ナキモ生産ヲナシ難キニアラス又貨幣ノミアレハトテ如何
ナル生産ニテモ爲シ得ヘシト云フヘカラス金銀ノ衣服ハ着クヘカラ

不動資本
流動資本

ス農業ヲ爲スニ銅貨ヲ撒クモ米麥ハ生スルモノニアラサレハ資本ハ必ス貨幣ナリト云テ得サルモノトス例エハ木綿ヲ製造スルニハ生綿紡績機械等アリテ之ニ勞力ヲ加フレハ足ル一ノ勞力者ヲ育フニ其必要ナル物品ヲ以テスレハ貨幣ヲ與ヘサルモ尙ホ之ヲ使役シテ勞働セシムヘシ然ラハ則チ貨幣ハ交換取引ヲ圓滑ナラシムル最上ノ要具タルニ相違ナシト雖モ之ヲ以テ資本ト異名同物ナリト考フルハ大ニ誤ナリト云ヘシ

却説^サ貨物ヲ資本トシテ使用スル方法ハ一様ナラス之ヲ大別シテ二トス曰不動資本流動資本之レナリ不動資本トハ其所有者ニ於テ生産ノ爲メ數回使用スルヲ得ヘキ資本ヲ云ヒ流動資本トハ或ル生産ノ爲メ只一回ノミ使用スル資本ヲ云フ故ニ農業用ノ鋤鋤牛馬製造用ノ機械家屋ハ不動資本ニシテ農夫工夫ノ食料播ク所ノ種子製スル所ノ素品

ハ流動資本ナリ夫レ農夫ノ鋤鋤牛馬ハ耕作ノ爲メ一回使用スレハト
 テ直チニ消滅スルモノニアラス一挺ノ鋤一頭ノ牛ヲ以テ能ク數年ノ
 間耕殖ヲ爲スヲ得ヘシ然レトモ之ヲ使用スレハ漸次消費スルヲ以テ
 數年ノ後ハ鋤鋤ハ毀損スヘク牛馬ハ老衰スヘク遂ニ生産ノ用ヲ爲サ
 ハルニ至ル左レハ不動資本ハ生産ノ度毎ニ其消費シタル丈ノ價格ヲ
 生産シタル物品ヨリ辨償スルヲ得レハ足ルモノニシテ一時ニ資本ヲ
 取戻スヲ要セス之ニ反シテ食料ノ如キハ一度口ニ投スレハ其形ヲ失
 フヘク繰綿ノ如キハ木綿トナレハ再ヒ繰綿ノ用ヲ爲サス皆一回使用
 ノ後ハ再ヒ同一ノ生産用ニ供スルヲ得サルナリ之ヲ以テ流動資本ハ
 一生産毎ニ生産シタル物品ヨリ其費シタル全價格ヲ回復スルヲ要ス
 例ヘハ木綿ノ製造家カ木綿ヲ製造スルニハ繰綿ヲ消費シ勞役者ヲ使
 役シ機械家屋ヲ使用スヘシ而シテ其製造シタル木綿ヲ賣ルトキハ其

代價ヲ以テ繰綿ノ代價ヲ償ヒ勞力者ニ給シタル勞銀ノ額ヲ復シ尙機
 械家屋ノ價格ノ一部分ヲ得ンコトヲ期スヘシ是レ繰綿勞銀ハ流動資
 本ニシテ機械家屋ハ不動資本ナレハナリ
 右ノ如ク不動資本ト流動資本トノ別ハ其用法ヨリ定ムルヲ以テ同一
 ノ貨物ト雖モ或ハ不動資本ト爲リ或ハ流動資本ト爲ルヘシ例ヘハ馬
 車ノ如キ商業者ノ店頭ニ在リテ賣品タルトキハ流動資本ナレトモ貸
 馬車營業人之ヲ買フテ貸馬車トナストキハ不動資本ナリ然ルニ不動
 資本モ亦多クハ轉シテ流動資本ト爲ルモノトス則チ右ノ貸馬車ノ如
 キ其貸馬車タル間ハ不動資本ナレトモ其毀損スルニ至レハ木造ノ部
 分ハ薪トナルヘク鐵製ノ部分ハ賣ラレテ釘トナルカ又ハ他ノ鐵具ト
 ナルヘキヲ以テ變シテ流動資本トナルヘキナリ
 既ニ前ニ述タル如ク資本ハ生産ノ爲メニ貯蓄シタルモノナルヲ以テ

生産ノ目的ヲ以テ使用スルニハ相違ナケレトモ其使用セラレタル資本ハ必ス生産ヲナスヘキモノナリトハ稱シ難シ若シ營業者資本ヲ使用スルコト巧ミナラサレハ之ヲ浪費スルヲ免レス然ルトキハ之レカ爲メニ生産ヲ爲ス能ハサルノミナラス却テ國家ノ資本ヲ害フニ至ルヘシ例エハ製造ヲ爲スニ機械ノ不充分ナルモノヲ用フルトキハ同一ノ資本額ヲ用ユルモ其完全ナル機械ヲ使用スルモノニ比スレハ其生産高遙ニ之ニ及ハサルヘシ然ラハ其營業ニ於テハ例令相當ノ利益アルニモセヨ十分ニ資本ノ効驗ヲ逞フセサルヲ以テ多少資本ノ浪費ヲ免レサル者ト云フヘシ如此コトハ政府ニ於テ營業ヲ保護スル場合杯ニ往々行ハル、モノトス何トナレハ此場合ニ於テハ營業者ハ自ラ奮フテ銳ヲ養ヒ力ヲ極メテ競争ニ當ルノ要用ナキヲ以テ資本ノ効驗薄キヲ願ミサルヲ以テナリ嘗テ合衆國ニ於テ或製造ノ事業ニ付キ委員

ナ歐州ニ派遣シテ調査ヲ爲サシメタルコトアリ該委員ハ或製造所ニ
臻リ粗生品ノ買入ヨリ仕上荷造ニ至ルマテ總テ製造ノ手續キテ調ヘ
又勞銀ノ割合ヨリ勞力者ノ智力就業時間等ヲ調査シタルニ其物品カ
重キ輸入稅ヲ課セラル、ニモ拘ハラス合衆國へ輸入セラル、コトノ
不審ニ堪ヘサリシヲ以テ其理由ヲ營業主ニ質問セリ然ルニ營業主ハ
莞爾トシテ答フルニ余モ其理由ハ詳ニ知ルコトヲ得サレトモ我輩同
業者ハ嘗テ此物品製造ニ付テ日耳曼ノ營業者ト競争シ舊機械ヲ廢シ
テ新機械ノ改良シタルモノニ代ヘタルコトアリ當時其我輩カ廢棄シ
タル舊機械ハ合衆國へ賣ラレタリト云ヘリ然ラハ合衆國ニテハ其不
完全ナル舊機械ヲ用ユルカ故ニ低價ニ生産ヲナス能ハサルコトナル
ヘシト云ヲ以テセリ嗚呼合衆國ノ營業者ハ保護稅ヲ賴ンテ目前ノ小
利ニ眩シ他人ノ廢棄シタル古機械ヲ使用シ資本ノ効驗ヲシテ十分ナ

ラシメス國家ノ損失タル豈ニ小ナランヤ又營業ノ爲メニ巨額ノ資本
ヲ費シテ然ル後之ヲ廢止スルカ如キコトアラハ資本ノ徒費スルコト
一層大ナルヘシ例ヘハ一ノ鐵道會社ヲ創設シ株金ヲ募リテ鐵道ヲ布
設シタルニ貨物ノ運輸旅客ノ往復少ナキヲ以テ開業後久シカラスシ
テ閉社センカ株主ノ損害ハ勿論國家ニ於テモ資本ヲ海中ニ投シタル
ト均シキ損失アルヘシ如此キ事ハ商業繁榮ノ國ニシテ諸榮業非常ニ
繁昌シ資本充實シ利子ノ度外ニ減少シタル時杯ニハ往々發スル所ノ
現象ナリ此場合ニ於テハ資本家ハ資本ノ放下ニ苦ミ苟モ少シク利ア
リト見レハ其業ニ放銀センコトヲ求ムルヲ以テ無謀ノ投機者續々輩
出シ僥倖ヲ萬一二期シテ遂ニ資本ヲ消滅シ盡スコト少ナカラズ其他
疏水築港等其當ヲ得サレハ工事成ルト雖モ水道ハ田地ヲ灌漑スルニ
足ラス港灣ハ以テ船ヲ繫クニ由ナク其資本ハ毫モ生産ヲ資クルニ足

貯蓄ノ源
因

ルヘシ之ヲ小ニシテハ士族ノ商法書生ノ著譯資本ヲ蕩盡シテ生産ヲ
ラサナサハルモノ少シトセス
夫レ資本ハ貯蓄ニ成ルヲ以テ貯ヘサレハ資本生セス又之ヲ増加スル
ヲ得ス而シテ人民カ貯蓄ヲ爲スニ至ルハ秩序遠慮克己ノ三者之カ源
因タリ
社會ノ秩序治マラサレハ財産ノ保護足ラス財産ノ保護安全ナラサレ
ハ人々刻苦シテ貯蓄ヲ爲スモ之ヲ私有シテ其成功ヲ樂ムヲ得ヘキヤ
否ヤヲ知ルヘカラス其確信スヘカラサルコトヲ期シテ何ヲ以テ辛抱
ヲナサンヤ夫ノ軍人水夫ノ如キヲ見ヨ有事ノ日ニアリテハ貯蓄ヲナ
スモノ殆ント稀ナリ惡疫流行シ慘毒ヲ逞スル日ニ當リテヤ人心恟々
朝ニ夕ヲ計ルヘカラサルヲ以テ貯蓄ノ念慮甚タ薄キモノトス是レ他
ナシ如此場合ニ於テハ人々小心謹慎儉約辛抱ヲ爲スモ果シテ其結果

ハ我有トナルヲ得ヘキヤ否ヤ確期スヘカラサルヲ以テ寧ロ快ク一時
ニ取ルノ勝ルニ如カスト考フルヲ以テナリ然ルニ人將來ヲ慮ハカリ
天ノ未タ陰雨セサルニ當リ牖戸ヲ綢繆スルノ深思ナケレハ假令社會
ニ秩序アリト雖モ貯蓄決シテ多キヲ得サルナリ先哲云ヘルアリ人遠
キ慮ナケレハ必ス近キ憂アリト血氣ノ盛ナルニ當リ只目前ノ快樂ヲ
事トシテ後日ノ計ヲナサ、ルモノハ一朝疾ヲ得身体ノ勞働自由ヲ得
サルコトアレハ忽チ饑寒ヲ免レサルヘシ其妻子アルモノハ禍一身ニ
止マラス妻子ヲシテ相率ヒテ食ヲ道路ニ乞ハシムルニ至ルヘク或ハ
身老テ自ラ生計ヲ營ム能ハサルニ至レハ獨立スルヲ能ハス老テハ子
ニ從ヘノ古言ヲ守リテ殘念ナカラモ子供ノ厄介トナラサルヘカラス
此ヲ以テ苟モ將來ノ慮アルモノハ其壯ンナルニ當リテハ漫ニ自暴自
棄ノ行ヲナサス銳意貯蓄スヘキナリ然ルト雖モ人ハ情慾ノ爲メニ左

右セラル、チ免レサルヲ以テ其意貯蓄ニアリト雖モ自ラ其慾ヲ制ス
 ルコト能ハサレハ貯蓄ハ只其意志ノミニシテ之ヲ實行スルヲ得ス於
 是乎克己ト云フモノナケレハ其實效ヲ見サルヘシ嘗テ耶蘇教ノ宣教
 師方南亞米利加ノ巴拉グワイ國ニ至リシトキ其土人ノ未タ耕殖ヲ知
 ラサリシヲ以テ之ヲ導キテ耕作ノ業ヲナサシメント欲シ五穀ノ種子
 ナ與ヘタルニ土人ハ之ヲ地ニ施セハ數月ニシテ幾十倍ノ收穫ヲ得ヘ
 キヲ知ラサルニハアラサレトモ將來ヲ慮ハカルノ念慮薄キカ故ニ眼
 前ノ貪慾ヲ制スルノ耐忍ナキ直チニ其種ヲ取リテ食ニ供シ殖エルコ
 トヲナサ、ルニハ殆ント困却セリト云フコトアリ蟻能ク蟻牛ヲ牧シ
 蜂能ク蜂蜜ヲ貯フルヲ知ル人ニシテ蟻蜂ニタモ如カサルハ豈ニ哀シ
 カラスヤ

已ニ社會ニ秩序アリ財産ノ保護安全ニシテ人民能ク將來ヲ慮リ能ク

情慾ヲ制スルヲ得レハ貯蓄増加スヘシト雖モ尙殖利ノ大小如何ニ由テ其間増減ヲ免レサルモノトス夫レ人々ノ貯蓄ヲナスヤ只目前ニ得ヘキ快樂ヲ忍ンテ後日ニ移スノミナラス其貯蓄ヲ以テ一層大ナル快樂ヲ得ント欲スレハナリ去レハ後日ニ得ヘキ快樂ノ大小ニ由テ其貯蓄ニ増減アルヘキハ論ヲ待タサルナリ故ニ若シ資本充溢シテ誰モ之ニ利子ヲ付シテ借ルモノナキニ至レハ富豪家ニシテ悉ク其歲入ヲ使用スルノ道ナク知ラス識ラス殘資ヲ貯フルカ又遠慮深キモノニシテ殖利ヲ意トセス貯蓄ヲナスカノ外ハ皆多クハ其貯蓄スル所ノ量ヲ減シテ今日ノ快樂ニ供スヘク之ニ反シテ利子非常ニ高キトキハ無慾ナルモノ又ハ情慾ノ爲メ放心シタルモノ、外ハ多少其慾ヲ制シテ貯蓄ニ供スルヲカムヘキハ敢テ疑ヲ容レサルナリ

右ノ次第ナルヲ以テ開明進歩シ人智開發スルニ從ヒテ國家ノ資本増

加スヘク殊ニ新國ニシテ其進歩駭々駟馬ヲ驅ルカ如クナルトキハ人
 民貯蓄ノ念甚盛ンニシテ資本ノ増加甚タ旺ンナルモノトス英國ノ資
 本ハ歲入稅ノ總計ニ據レハ歲入稅トハ其人周歲ノ所得ニ賦課スル稅
 ニシテ例ヘハ所得十分ノ一ノ稅ト假定スレハ百圓ヲ上納スル者ハ千
 圓ノ歲入アルヲ推知スルヲ得ヘシ然レトモ此歲入稅ナルモノハ確實
 ナルコトハ固ヨリ期スヘカラス英國ノ法ハ人民ノ申告ニ基テ此稅ヲ
 課スルヲ以テ株券若クハ公債證書ノ如キモノヨリ得ル歲入ノ外ハ明
 確ニ知ルヲ得スト雖モ資本増加ノ形勢ヲ見ルニハ敢テ差支ナカルヘシ
 千八百四十三年ヨリ千八百五十三年マテハ大貌列顛ニ於テ少クモ年
 ヲ四千二百萬ポンド千八百五十四年ヨリ千八百六十年マテハ合衆王
 國ニテ少クモ一億千四百萬ポンド千八百六十三年ニハ一億三千萬ポ
 ンドヲ増加セリ英國資本ノ夥多ナルハ其國內ノ營業ニ於テ不要ノ巨

資本ノ放
下

額ナル資本ヲ用フルヲ以テ其旋轉遲緩ニシテ利益ノ割合益小ナリト云フト其資本ヲ外國ニ輸出シテ放銀スルコトノ盛ンナルトヲ以テ之ヲ推知スヘキナリ

扱其貯蓄シタル資本ヲ使用スルヲ放銀即チ「インヴェストメント」ト云フ蓋シ放銀ノ方法二種アリ進取放銀「アクチーブインヴェストメント」退守放銀「パッシーブインヴェストメント」之レナリ進取放銀トハ資本ヲ事業ニ投シテ損益ヲ負擔スルモノニシテ直接ニ農工商諸業ノ資本ニ使用スルヲ云ヒ退守放銀トハ直接ニ資本ヲ企業ニ放下セス坐シテ收入ヲ得ンコトヲ計ルモノニシテ公債證書ヲ買ヒ又ハ銀行ニ預ケ入ル、カ如キヲ云フ此二種ノ放銀ハ資本家ニアリテハ各一得一失ニシテ其可否ヲ定ムヘカラス進取放銀ハ利益ノ割合多キニ相違ナケレトモ之ヲ失フノ恐レモ亦大ナリ其危険ヲ犯セハコソ其報酬トシテ割合

ニ大ナル利益ヲ得ルモノナレハ時トシテ其資本ヲ失フ覺悟ナカルヘ
カラス故ニ活潑敢爲ノ人ハ多ク進取放銀ノ道ヲ取ル然ルニ退守放銀
ハ之ニ反シテ利益ノ割合ハ勿論小ナルヘキモ資本ヲ失フヘキ機會モ
亦少シ故ニ小心謹慎ノ人ハ之ヲ失ハンヨリ寧ロ小利益ヲ以テ満足ス
ルニ如カスト爲シ多クハ退守放銀ニ依ルモノナリ右ノ如ク二種ノ放
銀ハ其得失相半ハスルヲ以テ孰レヲ利トスヘキト定メ難シト雖モ此
二者ハ相待チテ行ハレサルヘカラス若シ進取放銀アレトモ退守放銀
ナケレハ資本トナルヘキモノニシテ生産ニ使用セラレサルモノ多ク
空シク庫中ニ死藏セラルヘシ如何トナレハ一國ノ人皆自ラ其資本ヲ
使用スヲ得ヘキモノニアラサレハナリ其性質ニ依リ自ラ事業ヲ經營
スルニ不適當ナルモノアリ其職業ニ由リ自ラ生産ニ従事スル能ハサ
ルモノアリ此輩ノ如キハ退守放銀ヲ執ラサレハ其貯蓄シタル富ハ之